

磐城時報

日刊 十月五日
編輯兼發行所 磐城時報社
印刷所 磐城時報社
電話 四一五
郵政掛號 第三三三號
代價 一月一元二角 三月三元五角 半年六元 一年十二元
廣告料 一行一十字 一日一角五分 五日五角 十日一元 一月二元 一月以上者 另議
印刷部 電話 四一五
發行部 電話 四一五
印刷部 電話 四一五

佐藤、木村兩候補は依然苦戦の状態

第三區石、相、双における政戦候補區南石城の地に進出野崎氏は注目された無産黨の出馬もな有力な援助を受け比較的優勢は既成政黨の獨り舞臺となり表候補と見られて居た氏家は一面は平凡裡に決算期に入つたが一般の豫想するが如く前山田氏何しる勢力伯仲の同志相食む四が獲得した二千票に石城方面が候補互に死物狂ひの戦亂を續けら同程度の票が送られるとして全く言語に絶するものがある、たれ決して樂觀を許されず、野が愈々總勘定の日近づくにつれ各候補等が氏家氏應援で幾分苦戦の得票豫想を終へた模様であ派より二千食はれても余分の得票が豫想され却て安全圈内によると區北相、双の地から立に盛り返し、木村、佐藤兩候補

比佐氏は有利に轉開政戦決算期に入る

石城郡豊岡村では十三日不在投票を行ったが、十四日更に小名濱、江名、四ツ倉の三ヶ町村で不在投票を行った。同日午後二時迄に豊岡八十九名、江名百十五名、小名濱一名、四ツ倉七名の投票があつた。これに於ける不在投票の皮

比佐氏應援

井上藏相は郡山、福島に、大島栗山兩候補應援の序を以て十七日午後平町に來り腹背ともに敵を受け苦戦を傳へられてゐる比佐候補のため平、内郷、四倉の各所で獅子吼する事となつた。大臣の應援演説は平地方で始めての事なので人氣沸騰してゐる

不在投票

石城郡豊岡村では十三日不在投票を行ったが、十四日更に小名濱、江名、四ツ倉の三ヶ町村で不在投票を行った。同日午後二時迄に豊岡八十九名、江名百十五名、小名濱一名、四ツ倉七名の投票があつた。これに於ける不在投票の皮

當選点は

一萬六千票位か
立候補者は言論に死力を盡してゐるが、今回有権者總數は七萬六千三百三十七票にして前回より六千四百票の増加である。候補者の當選得票も自然増加した。このため困難を來す状態に在り候に棄権、失格等一割三分を見ても當選得票は六萬四千四百四十四票である。最高得票者が漸く當選圈内に入る如き有様である。

平郵便局で從業員に注意

平郵便局では總選舉に當り從業員に對し「輕率なる言語を弄し他人の疑惑を受けるやうな注なきこと」等の十項にわたる注意を與へ萬全を期して居るが、十四日午前現在に於ける同局取扱ひの選舉關係郵便物は引受五千八百四十五通、配達三萬七千二百四十八通、計十九萬五千九百三十三通、なほ四五萬取扱ひがある見込である。前回總選舉に於ける同局の選舉關係郵便物取扱高は引受二十一萬四百七十、配達七萬二千五百二十一、計二十八萬二千九百九十一であるが同候補者六名あつたから割合にすると今回の分が多い

吉田醫院開業

石城郡大野村戸田吉田保之助氏二男正氏は大正十五年日本醫學專門學校を卒業後赤十字病院に入りその後二木博士の斡旋で横濱市立病院に入りその後大槻博士に奨められ横須賀海軍兵共濟會病院第二内科部長となり今回退職して四倉町驛前に吉田醫院を開業した。

電氣料値下げ問題 會社の態度強硬

平町の電燈料値下げ問題は屢報期し減燈、廢燈の實行を全町舉の如く着々運動を續けつゝあつて決行する筈であるがこれ亦たが、總選舉の關係から下火の困難と觀られ、余りにも町民側感があつた處、田町料理店、藝が弱腰で今後の運動行爲が各方針等二十四戸が一ヶ月分の料面から注目されてゐる。

平町民はランプを用意

電氣料値下げ問題の爭議化に當り断絶されるもの續出した。電氣料下期同盟會では實行委員會を開き今後の對策を協議した。結果會社が引込線を切斷するが如き直接行動に出た以上町民も如何の場合の對抗も會社側の當たりの議が一決し會社に應答態度強硬で町側に不結束を來しするたためさきの決議事項に基き要求に應ずることになる模様である。

立候補につき御挨拶

候補者 佐藤庄太郎
（下）
如斯國內に於ては、經濟上容易ならざる情態にある今日の場合、外に於てはロンドン會議に於ける軍縮達成の大業を控へて居るのであります。是れが舉國一致の後援を送るべき要ある態度を表明したる我黨の意を頑迷なる政府並に與黨は悟らず、却て議會再開の第一日に於て、未だ質問應答を盡さざるに、専横なる議會解散の暴舉を敢て致したのであります。
本現内閣は少數黨内閣でありますから、其政策遂行上支障の多いは既に相閣當時に解り切つた事であり、故に此の理由を以てするならば、組閣直後に解散を奏請すべ

屋内の減燈を斷行することになつた、なほ既に断線、消燈された家庭に對しては委員が適當の設備をとりなほ今後消燈されるものに備へるためランプを用意する等爭議準備に狂奔中だが、會社側の態度は依然として強硬のたゆみ不祥事を惹き起すでかならうかと憂慮し平署の警戒はいよゝ、嚴重になつて來たなほ屋内の減燈はとにかく街頭を印刷物は 加納活版所

あす平町で 關東北卓球戦

平卓球協會主催關東北卓球大會は十六日午前九時から平町元石城郡役所に開催の管で参加者は宮城、福島、茨城の三縣下に亘り十三日迄の申込者は左の如く大激戦を豫想されてゐる。

- ▲仙臺卓球クラブ(仙臺)▲福島高商チーム(福島)▲スタークラブ(水戸)▲いろはクラブ(神谷)▲みどりクラブ(平)▲鐵道クラブ(平)▲日立門山クラブ(助川)▲東京鐵道(東京)▲常磐銀行(平)▲大平クラブ(平)▲平第一校(平)▲好間校クラブ(好間)

四倉青年團 役員決定

四倉青年團の總會は十一日紀元節を卜して開催午後一時馬場團長の挨拶、平商業學校長吉田利吉氏の講演等あり終つて各幹部及副團長一名、幹事十一名の選舉をなしたるが總長には四倉町長新妻盛氏に決定し副團長として新町門馬信太郎氏、幹事には満山平氏外十名に決定し午後六時散會した。

吹雪に遇つて 行商人凍死

石城郡上小川村十文字地内國有林内の積雪四尺の箇所に商人風の凍死体あるを十三日通行人が發見平署に届出た事は昨報の通りであるが、平署から係官出張検死の結果右は同村字下小川行商人鈴木又吉(七七)で去る八日行商に出て同日中に吹雪に會ひ遂に凍死し積雪に埋つたもれ發見されずに居たものである。

推薦廣告 立憲政友會公認候補者 木村清治君



人格、手腕、識見、徳望の点に於て衆議院議員の適材と認め是に推薦し極力その當選を期す

石城政友部會
責任者 石城郡平町字二丁目三番地 山田忠太郎

推薦廣告



立憲政友會公認 佐藤庄太郎君

政治生命の最後として悲壯なる決意を以て奮起せられた同氏を茲に推薦し極力その當選を期す

石城郡平町字二丁目三十九番地
責任者 谷口仁太郎

醫院開業

常磐線四倉驛前(電話三十番)

吉田醫院

院長 吉田正

内科、小兒科、專門
外科、花柳病科
(入院應需)

液体空氣會社製(酸素含有量九.九五分)

(東京工業試驗所長證明)

吸入用酸素酸素吸入器

正確体温器、寒暖計

特約店 磐城平町 開内藥局 電話四〇番

サロンのバーには

何時も生ビールがあります
毎日變つた佛蘭西料理の御献立をして御座います。……ドーズ御試食を……

田町松月堂隣り
美味で さもちよい サロン
評判の 男女給仕人数募集 電話三五二番

耳鼻咽喉科

平町仲田町七一

新築 津醫院

移轉 場所 電話五五九番

二葉印刷所

平町字仲町
電話七三四番

「まあ丈夫になつたわ」是れも平町七丁目の熱心湯のお蔭様よ。ほんたうに、香りだわ……そして湯銭の安い事、朝の十時から夜迄入つて湯治の方は二階座敷料共僅か二十五錢よ」

「あらさう?! それではあたかもこれから毎日行くわ、そして丈夫な身体になるわ……」

外科一般

醫學博士 藤本順

産婦人科

長 木村寅次郎
平町新川町(電話一六四)

病室完備 入院隨意 木村病院

コロンビアレコード特別發賣

正しき選舉の道 尾崎行雄演説
麗人の鳥 映畫小唄 河原喜久恵
殿中の傷 浪花節 浪花亭綾太郎
何れも熱狂的の歡迎を受けて居ります、是非御買上げを願います……密音器の破損は早く良く安く

電話一九番 大谷時計病院